

統監府及理事廳官制

右謹テ上奏シ恭シク

聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラレ

ムコトラ請フ

明治三十八年十二月十八日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

内閣  
御  
印

勅令第

號

統監府及理事廳官制

第一條

韓國京城ニ統監府ヲ置ク

第二條

統監府ニ統監ヲ置ク

統監ハ親任トス

統監ハ天皇ニ直隸シ外交ニ關シテハ

外務大臣ニ由リ内閣總理大臣ヲ經其

他ノ事務ニ關シテハ内閣總理大臣

ヲ經テ上奏ヲ為シ及制可ヲ受ク

第三條

統監ハ韓國ニ於テ帝國政府ヲ

代表之帝國駐劄外國代表者ヲ經由ス  
ルモノヲ除クノ外韓國ニ於ケル外國  
領事館及外國人ニ関スル事務ヲ統轄  
シ併セテ韓國ノ施政事務ニシテ外國  
人ニ關係アルモノヲ監督ス  
統監ハ條約ニ基キ韓國ニ於テ帝  
國官憲及公署ノ施行スヘキ諸般ノ  
政務ヲ監督シ其ノ他從來帝  
國官憲ニ屬シタル一切ノ監督事  
務ヲ施行ス

第四條 統監ハ韓國ノ安寧秩序ヲ保持  
スル爲必要ト認ムルトキハ韓國守備  
軍ノ司令官ニ對シ兵力ノ使用ヲ命ズ  
ルコトヲ得

第五條 韓國ノ施政事務ニシテ條約ニ  
基ク義務ノ履行ノ爲必要ナルモノハ  
統監ニ於テ韓國政府ニ移牒シテ具ノ  
執行ヲ求ムヘシ但シ急施ヲ要スル場  
合ニ於テハ直ニ韓國當該地方官憲ニ移牒  
シ之ヲ執行セシメ後之ヲ韓國政府ニ

通報スヘシ

第六條 統監ハ帝國官吏具ノ他ノ者ニシテ  
韓國政府ノ傭聘ニ係ルモノヲ監督ス

第七條 統監ハ統監府令ヲ發シ之ニ禁  
錮一年以下又ハ罰金二百圓以内ノ罰  
則ヲ附スルコトヲ得

第八條 統監ハ所轄官廳ノ命令又ハ處  
分ニシテ條約若ハ法令ニ違ヒ、公益ヲ害シ  
又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルト  
キハ其ノ命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ

取消スコトヲ得

第九條 統監ハ所部ノ官吏ヲ統督シ奏  
任官ノ進退ハ內閣總理大臣ヲ經テ之  
ヲ上奏シ判任官以下ノ進退ハ之ヲ專  
行ス

第十條 統監ハ內閣總理大臣ヲ經テ所  
部官吏ノ敘位敘勳ヲ上奏ス

第十一條 統監ハ外統監府ニ左ノ職員  
ヲ置ク

總務長官 一人 勅任

農商工務總長	一人	勅任又ハ奏任
警務總長	一人	勅任又ハ奏任
秘書官	一人	奏任
書記官	七人	奏任
警視	二人	奏任
技師	五人	
通譯官	十人	奏任
屬		
警部		
技手		
	專任四十五人	判任

通譯生

統監府又ハ其ノ所轄官廳ノ事務ヲ囑託セラレタル韓國人ハ高等官又ハ判任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

第十二條 總務長官ハ統監ヲ佐ケ府務ヲ總理ス

第十三條 統監事故アルトキハ統監ノ定ムル所ニ依リ韓國守備軍ノ司令官又ハ總務長官臨時統監ノ職務ヲ代理ス

第十四條 農商工務總長ハ上官ノ命ヲ承ケ

農工商具、他産業ニ関スル事務ヲ管掌ス

第十五條 警務總長ハ上官ノ命ヲ承ケ

警察事務ヲ管掌ス

第十六條 祕書官ハ上官ノ命ヲ承ケ機

密ニ関スル事務ヲ掌ル

第十七條 書記官ハ上官ノ命ヲ承ケ府

務ヲ掌ル

第十八條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術

ヲ掌ル

第十九條 通譯官ハ上官ノ命ヲ承ケ文

書翻譯及通譯ヲ掌ル

第二十條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技

術ニ従事ス

第二十一條 統監ハ統監府技師、通譯官

及技手ヲシテ理事廳ニ在勤セシムル

コトヲ得

前項ノ職員ハ其ノ職務ノ執行ニ付當

該理事官ノ指揮監督ヲ承クルモノト

ス

第二十二條 韓國内須要ノ地ニ理事廳

ヲ置ク  
理事廳ノ位置及管轄區域ハ統監之ヲ  
定ム

第二十三條 各理事廳ニ左ノ職員ヲ置ク

- |      |    |
|------|----|
| 理事官  | 奏任 |
| 副理事官 | 奏任 |
| 屬    | 判任 |
| 警部   | 判任 |
| 通譯生  | 判任 |

前項職員ノ外統監ニ於テ必要ト認ム  
ル理事廳ニ警視ヲ置ク奏任トス  
副理事官二人以上ヲ置ク理事廳ニ於  
テハ其ノ一人ハ主トシテ法律事務ヲ  
掌ルモノトス

理事廳職員ノ定員ハ別ニ之ヲ定ム  
第二十四條 理事官ハ統監ノ指揮監督  
ヲ承ケ從來韓國在勤領事ニ屬シタル  
事務茲條約及法令ニ基キ理事官ノ執  
行スルキ事務ヲ管掌ス

第二十五條 理事官ハ安寧秩序ヲ保持スル爲緊急ノ必要アリト認ムル場合ニ於テ統監ノ命ヲ請フノ違ナキトキハ當該地方駐在帝國軍隊ノ司令官ニ移牒シテ出兵ヲ請フコトヲ得

第二十六條 理事官ハ韓國ノ施政事務ニシテ條約ニ基テ義務ノ履行ノ爲必要アルモノニ付事緊急ヲ要シ統監ノ命ヲ請フノ違ナシト認ムルトキハ直ニ韓國當該地方官憲ニ移牒シ之ヲ執

行セシメ後之ヲ統監ニ報告スハシ

第二十七條 理事官ハ理事廳令ヲ發シ之ニ罰金十圓以内、拘留又ハ科料ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

第二十八條 副理事官ハ理事官ノ命ヲ承テ廳務ヲ掌リ理事官事故アルトキハ臨時其ノ職務ヲ代理ス

第二十九條 統監府及理事廳警視ハ上官ノ命ヲ承テ警察事務ヲ掌ル

第三十條 統監府及理事廳屬ハ上官ノ



指揮ヲ承テ庶務ニ従事ス  
第三十一條 統監府及理事廳警部ハ上官ノ指揮ヲ承テ警察事務ヲ分掌シ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス  
第三十二條 統監府及理事廳通譯生ハ上官ノ指揮ヲ承テ文書翻譯及通譯ニ従事ス

第三十三條 統監府及理事廳ニ巡查ヲ置ク判任官ノ待遇トス  
巡查ノ定員ハ統監之ヲ定ム

統監府總務長官及統監祕書官ノ任用分限及官等ニ関スル件

右謹テ上奏シ恭シク  
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ付セラレムコトヲ請フ

明治三十八年十二月十八日

内閣總理大臣伯爵桂太郎